

## 令和5年度 第4回 仙台市交通政策推進協議会 議事録

- 日 時 令和6年3月22日(金) 10:00~12:00
- 会 場 青葉区役所7階 第1・2会議室
- 出席委員 吉田樹委員、青木俊明委員、菊池輝委員、大泉隆是委員、山城佑太委員、山田和義委員、佐々木芳陸委員、木村和博委員、菅井茂委員、平嶋教義委員、水谷哲也委員、二階堂聡委員 [12名]
- 代理出席 山火健一氏(鳴海芳紀委員代理)  
長谷部宗俊氏(山田憲彦委員代理)  
湯浅誠一氏(石川文雄委員代理)  
鈴木俊介氏(脇田淳委員代理)  
大庭克己氏(白鳥裕之委員代理) [5名]
- 欠席委員 中嶋吉則委員、小野潤哉委員、阿部博委員、奥山武信委員、桃野智文委員、岩間文貴委員、山口裕子委員 [7名]
- 仙 台 市 五十嵐大公共交通推進課長、田中徹地域交通推進課長  
(事務局) 石澤由交通政策課計画係長、鈴木康二郎公共交通推進課利用促進係長  
安附貴子地域交通推進課主幹兼地域交通第一係長、  
利根川崇地域交通推進課地域交通第二係長  
阿部健太郎公共交通推進課利用促進係主査、  
早坂佳高公共交通推進課利用促進係主査、  
阿部功介公共交通推進課利用促進係主査、日下貴史交通政策課計画係主任  
吉田誠公共交通推進課利用促進係技師  
千葉晋太郎地域交通推進課地域交通第一係主事
- 次 第 1 開会  
2 挨拶  
3 議事  
(1) 仙台市地域公共交通利便増進実施計画(案)について  
(2) 仙台市地域公共交通計画について  
(3) 地域公共交通計画変更届出(地域内フィーダー系統確保維持費  
国庫補助金)について  
4 報告  
(1) 令和5年度仙台市地域公共交通利便増進実施計画策定検討業務委託  
について

(2) 令和 5 年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について

(3) 仙台市地域公共交通計画 施策の取組み状況について

5 その他

6 閉会

配布資料	資料 1 仙台市地域公共交通利便増進実施計画（案）
	資料 2-1 仙台市地域公共交通計画（案）【本編】
	資料 2-2 仙台市地域公共交通計画（案）【別冊】
	資料 3 道路運送高度化実施計画（案）
	参考資料 地域公共交通計画等の作成と運用の手引き（国土交通省資料）抜粋
	資料 4 地域公共交通計画変更届出書（案）
	資料 5 令和 5 年度地域公共交通利便増進事業（利便増進計画策定事業） 報告書概要版
	資料 6 令和 5 年度地域公共交通利便増進事業（利便増進計画推進事業） 報告書概要版
	資料 7 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（二次評価）
	資料 8 仙台市地域公共交通計画～施策の取組み状況について～

## 1 開会

### ○石澤由 交通政策課計画係長

定刻となったため、令和 5 年度第 4 回仙台市交通政策推進協議会を開催します。忙しい中、出席ありがとうございます。本日の司会は仙台市都市整備局交通政策課の石澤が務めます。

初めに、お配りした資料の確認をさせていただきます。

（配布資料の確認、中略）

続いて委員の変更についてご報告いたします。宮城県警察本部交通部交通規制課長におかれましては、人事異動により高橋誠委員から阿部博委員に変更となり本日付けで委嘱をいたしました。阿部委員は本日はご欠席です。

本日の会議の成立について、本日は委員 24 名中代理出席 5 名を含めた 17 名が出席のため、設置要綱第 6 条第 2 項に基づいた定足数を充たし、会議が成立していることを報告します。

## 2 挨拶

### ○石澤由 交通政策課計画係長

次第の2番、吉田会長よりご挨拶を頂戴します。よろしくお願いいたします。

### ○吉田樹 会長

おはようございます。年度末のお忙しい中、ありがとうございます。今日の協議会は、前回意見聴取を行った利便増進実施計画、八木山ラインについて、4月1日にダイヤ改正がありますので、それに向けた最終的な意見聴取を行いつつ、仙台市の地域公共交通計画に関わる取組みの進捗状況についても報告を行います。今年度の取組みのまとめとなる協議会なので皆様からの忌憚のない意見ををお願いします。

### ○石澤由 交通政策課計画係長

次第の3番、議事に移ります。ここからの進行については、設置要綱第5条に基づき、吉田会長をお願いします。

## 3 議事

### ○吉田樹 会長

議事に入る前に、本会議の公開・非公開についての確認です。本日の交通政策推進協議会については原則公開で進めることとし、審議の中で非公開とする必要がある部分は、都度皆様に諮ることを考えていますが、よろしいでしょうか。

(一同了承)

続いて、今回の議事録署名委員について、株式会社タケヤ交通・佐々木委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

(佐々木委員了承)

では議事に入ります。事務局より説明をよろしくお願いいたします。

### (1) 仙台市地域公共交通利便増進実施計画（案）について

#### ○吉田樹 会長

利便増進実施計画は仙台市が策定した地域公共交通計画に基づく特定事業計画で、本協議会で議決をするのではなく仙台市が直接提出するものです。この協議会は地域交通法に基づく法定協議会であるためこの場で意見聴取をする必要があります。今年の春からのダイヤ改正では八木山ラインの平日のピーク時間帯、土休日のダイヤ調整について、既に昨年11月（第3回協議会）で意見聴取を行っていますが、ダイヤの一部に変更があるため事務局から説明をしていただきます。また、既に行っている平日のオフピークについてもダイヤの一部変更があるため、これらに関わる意見聴取とな

ります。資料 1 について事務局から説明をお願いします。

○吉田誠 公共交通推進課利用促進係技師

平日ピーク時間帯、土休日のダイヤ調整については、昨年 11 月 27 日の第 3 回協議会にて意見聴取をいただきました。もう一点、今年度から運行を開始した平日オフピークのダイヤ調整についても、変更があるためこれに関して意見聴取を行います。

どちらの変更についても、利用しやすいダイヤになったということが要旨です。

(資料 1 の説明。中略)

○吉田樹 会長

資料 1 について、ご意見・ご質問はありますか。

(特に議論なし)

(2) 仙台市地域公共交通計画について

○吉田樹 会長

この議題に関しては、既に策定されている計画の変更について、事務局から説明を頂きたいと思います。この後 (3) でも議論することになりますが、国からの運行費補助(地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金)を審議するにあたり、公共交通計画の中に補助の必要性を明記する必要があります。これに関わる修正がまず一つです。もう一つは、「高度化実施計画」についてです。これは宮城交通(株)が申請するものとなりますが、この協議会が関係する公共交通事業者から意見を聴取する場として位置づけられているため、この場で諮るものとなります。では、資料の説明を事務局からお願いします。

○吉田誠 公共交通推進課利用促進係技師

大きく 2 点の変更があります。まずは国のフィーダー補助の連動化について、その内容を地域公共交通計画に反映した変更です。次に、宮城交通(株)が高度化実施計画を作成するにあたり、地域公共交通特定事業を地域公共交通計画に関連付けたという変更です。

(資料 2-1、2-2、の説明。中略)

○吉田樹 会長

引き続き、高度化実施計画について、宮城交通から説明をお願いします。

○鈴木俊介 宮城交通株式会社営業本部部長兼営業部長 代理 営業部次長

この計画を策定し大臣認定を得ることで、様々な特例を受けることができますが、今回の計画で申請する内容としては、公共交通計画に位置付けられた都心循環線等に EV

を導入する事、また、それに関連する固定資産税の減免措置を受ける事です。

(資料 3、参考資料の説明。中略)

資料の説明は以上ですが、補足があります。固定資産税の減免額だけではなく、こうして EV の導入を計画内に位置付けることは、仙台市や皆様と計画的に事業を進めていくという意思表示ですので、前向きにとらえていただきたいと思います。

また、資料はありませんが、本日(3月22日)の15時にリリースするお知らせを共有します。東北電力や EV モーターズなどと共同しエネルギーマネジメントの共同実証実験を開始することとなりました。電力のピークシフトや寒冷地に強い EV 車両の開発などをチョコットの EV 車両を実証フィールドとして調査・研究していきます。このような GX についてもできることから取り組んでいきます。

#### ○吉田樹 会長

これまでの内容について、質問・意見はございますか。

#### ○山城佑太 国土交通省東北運輸局交通政策部交通企画課長

まずフィーダー補助について、運輸局からは公共交通計画の本体において対象系統や補助の必要性などを記載することを求めています。本体・別冊という形で整理をしていただきました。計画と一体的に運用・発信していただくことが重要ですが、どちらとも合わせて公表していくことになるのでしょうか。想定している公開方法を教えてください。

次に道路運送高度化実施計画について、内容は説明していただいた通りですが補足があります。道路運送高度化実施計画を作成し国の認定を受けることによって固定資産税の優遇措置を受けるという特認制度であり、昨年10月に全面施行されている地域交通法の改訂に伴って運用されているもので、これを活用していただいていると認識しています。運輸局としてしっかり後押ししていきたいと考えています。ただしこの制度は令和5年10月以降施行されたもののため活用の実績の蓄積が多くなく、我々も手探りで進めているところです。特に固定資産税については税制当局との調整をしながら対応している状況です。具体的な記載事項や、元となる地域公共交通計画の本体でどの程度の内容を記載すべきか等、今後も引き続き仙台市や宮城交通と調整させていただきたいと考えています。

#### ○吉田樹 会長

後半の高度化実施計画については運用開始直後の制度で全国でも活用事例がありません。税制については、今後実績が積みあがっていくところです。

前半の質問について、事務局から回答をお願いします。

○吉田誠 公共交通推進課利用促進係技師

計画書の本体、別冊は一体であるという認識であり、公表の仕方について、仙台市のホームページで本体と並列して別冊も載せることを想定しています。また、国土交通省にもデータで送付する予定です。

○吉田樹 会長

その他に質問などありますか。

(特に質問等なし)

ありがとうございます。

(3) 地域公共交通計画変更届出（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）について

○吉田樹 会長

続いての議事は、ぐるりんあきうの本格運行に際して、変更をお認めいただきたいという主旨です。事務局から説明をお願いします。

○千葉晋太郎 地域交通推進課地域交通第一係主事

(資料4について説明。中略)

○吉田樹 会長

ご意見・質問はありますか。お諮りをしますが、皆様認めていただけますか。

(一同了承)

## 4 報告事項

(1) 令和5年度仙台市地域公共交通利便増進実施計画策定業務委託について

○吉田樹 会長

続いて、報告事項に移りたいと思います。資料5、資料6 続けての報告になります。資料6の内容については、東北工業大学の菊池先生に多大なご協力をいただきました。菊池先生にも必要に応じてご説明、補足を頂ければと思います。

○吉田誠 公共交通推進課利用促進係技師

(資料5について説明。中略)

○阿部功介 公共交通推進課利用促進係主査

(資料6 表面（八木山ラインにおける施策実施状況調査業務）について説明。中略)

○阿部健太郎 公共交通推進課利用促進係主査

(資料6 裏面（住民向けモビリティ・マネジメント（以下、「MM」）実施業務）につ

いて説明。中略)

MM についての説明は以上ですが、菊池先生から補足をお願いします。

#### ○菊池輝 東北工業大学工学部都市マネジメント学科教授

最終的には行動変容を目指すものですが、今回は慌てずしっかり意識・態度を変えてもらおうということで今年度の取組みを行いました。意識・態度は目に見えないものですが、一定の効果が確認できたと感じています。

一方で、調査に協力してくれる方が想定より少なかったことが反省点です。理由としては、旧来このようなアンケートは全住民を対象として配布し、うち 4 割が高齢者の回答となる所ですが、今回は最初から子育て世代・世帯を対象とし、高齢者は分析の対象外としたことが原因と考察しています。写真にあるように子供が楽しく正しい公共交通の知識を学びながら親の意識も変えようということ取組でした。ウェブで配信した内容の中には、子供にどのような健康的な影響があるかを含めました。今後も引き続き MM の取組を進めます。

#### ○阿部健太郎 公共交通推進課利用促進係主査

(資料 6 裏面 (ポケット時刻表等印刷業務) について説明。中略)

#### ○吉田樹 会長

資料 6 の裏面については、菊池先生からの補足の通り、八木山ライン自体を分かりやすく伝えるために、特に子育て世代の意識にターゲットを絞りながら対応していった結果、他の路線に比べ八木山ラインの利用者の増加率が明らかに高いということが報告されました。他方で、まだまだ認知度が高いとは言い切れず、運賃についても要望が多いという引き続きの課題が残されている状況です。

資料 5 については非常に細かく説明頂いたが、裏面について補足します。例えば、最初に仙台駅前に到着しその後、交通局大学病院前方面に向かう系統は、仙台駅やその周辺で乗客が多く降車するために仙台駅～交通局東北大学病院前の乗車人数が少ないという状態になります。ところが多くのバスは仙台駅からそのまま交通局東北大学病院前まで運行するため、乗車人数に対して運行本数が多いという状態になります。このような背景から、効率性を担保する取組みを行うための調査・分析を始めています。ただし、仙台駅周辺での車両の待機場所の問題や、交通局東北大学病院前からの折り返しの便が異なる系統になる場合もあるため本数を単純に減らすことが課題解決になるわけではないということ等、課題があります。

ではここまでで、質問・ご意見はありますか。

#### ○青木俊明 東北大学大学院国際文化研究科教授

資料 6、図 7 について、利用者・非利用者とのクロス集計は行っていますか。集計結

果について教えていただきたいです。

#### ○阿部功介 交通推進課利用促進係主査

今回の調査は、八木山ライン利用者にのみアンケートを実施しています。そのため、回答者は全てが利用者となるため、ご指摘のようなクロス集計は行えないものとなります。

#### ○山城佑太 国土交通省東北運輸局交通政策部交通企画課長

八木山ラインの利用者数の推移について、これは令和 5 年 6 月のダイヤ調整以降、利用者が増えたという分析結果だと理解しました。定点観測する上で、6 月時点で分析していることは理解しましたが、実際にはポケット時刻表を配布したのが 8 月であり、また、周知活動を 4 月以降も続けて行うことで利用者が増えると思いますので、その効果が見られる時点での分析を行っていただきたいです。

もう一点、今後の取り組みについて定時性の課題が上がっていましたが、パターン化されたダイヤと実際の到着時間の乖離がどの程度あったかのデータがあれば知りたいと思いました。

#### ○早坂佳高 公共交通推進課利用促進係主査

一点目の推移については、一般的に 6 月は利用が安定している時期なのでそこで比較を行いました。ご指摘の通り、ポケット時刻表の配布等周知活動を行ったのは 8 月であり、加えて、4 月以降に土休日なども変更があるので、引き続き分析を行いたいと思います。

もう一点の定時性については、以前の協議会からご指摘いただいている事項ですので、次年度以降、検討していきたいです。

#### ○吉田樹 会長

定時性について、これまで運行間隔の調整を行ってきたのは平日日中ですが、今後は平日ピーク時間帯も調整されます。実際の到着時間に大幅に乖離があると、効果が無いということになります。

データについては、IC カードから取得する大量のデータから分析する必要があり大変な面もあるが、取組みの効果検証は大事な視点のため、今後ワーキングなどでも取り上げていきたいと考えます。

#### ○菊池輝 東北工業大学工学部都市マネジメント学科教授

定時性に関して、精緻なデータではないが MM においてバスが遅れていないということアピールするため簡易的な調査をしました。詳細なデータについては今手元にないので示せませんが、日中の上り方面、八木山神社前到着時点は、ほとんど遅れてい

ないという結果が得られました。なお、八木山神社前から仙台駅への定時性も重要と考えますので簡易的な情報と認識いただければと思います。

## (2) 令和 5 年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について

### ○吉田樹 会長

続いての報告事項に移ります。令和 5 年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価についてです。国庫補助を受けている事業について、運輸局より二次評価の結果を頂いているため、それを会議にて確認いただくものになります。資料 7 の説明をお願いします。

### ○山城佑太 国土交通省東北運輸局交通政策部交通企画課長

(資料 7 について説明。中略)

資料の説明は以上ですが、補足をさせていただきます。評価委員会のコメントを紹介する概要ペーパーを今後配布したいと考えています。今回準備できなかったため、今後配布し、各自ご確認をお願いします。また、前回事業評価の評価結果とその反映状況を記載する様式がありますが、我々の様式の作りが甘く、自治体によって記載の仕方がまちまちだったため、様式上の工夫などを改めてわかりやすく周知し、効果的に評価・評価結果の反映をしていただけるように努めていきたいと考えています。

### ○吉田樹 会長

質問等がありますか。

(特に質問等なし)

## (3) 仙台市地域公共交通計画の取組み状況について

### ○吉田樹 会長

続いての報告事項に移ります。資料 8 の説明をお願いします。

### ○阿部功介 公共交通推進課利用促進係主査

(資料 8 について説明。中略)

### ○菊池輝 東北工業大学工学部都市マネジメント学科教授

乗り換えの動画は非常に面白い取組みであると思います。一方で、再生回数が多いということは現状の案内があまり適切ではないと解釈することができます。動画ばかりに頼らず、総合的に案内誘導の改善へとつなげていただきたいと思います。あるいは動画を活用する観点で、JR と協力し、例えば改札を降りてすぐに QR コードを分かりやすく掲

示する等の取組みも可能と考えます。再生回数が多いことが必ずしも良いことというわけではないことに留意いただければと思います。次年度以降、機能的な案内誘導の改善への取組を期待します。

**○吉田樹 会長**

「ここで左へ」「右方向は○番のりば」等の補足の説明も動画にあり、案内看板を読めば分かるものではあるが、その案内（看板）自体に分かりづらさがあるのではないかと思います。

**○早坂佳高 公共交通推進課利用促進係主査**

地域公共交通計画の中で、情報提供や案内誘導の改善について検討していくことを位置付けています。引き続き、ご指摘を踏まえ、交通事業者、道路管理者等と協力して検討に取り組んでいきます。

**○水谷哲也 仙台市建設局道路部部長**

昨年度、道路部でサインの見直しを図りました。今後の状況が動画の閲覧数からどの程度分析できるかはわからないが、修繕や追加の必要性などの見直しのきっかけとなり得るため、引き続き情報交換しながら取り組んでいきます。

**○吉田樹 会長**

動画は YouTube にあるのですか。

（事務局肯定）

YouTube であれば、動画の中でよく見られている部分に分かります。そのような箇所を確認し、情報提供の必要な場所の抽出に活用いただけると良いかもしれないと思いました。

**○青木俊明 東北大学大学院国際文化研究科教授**

青葉山グリーンモビリティの取組みは、乗務員不足などの問題の解決につながる可能性があるため、青葉山にかぎらずフィーダーなどに無人バスの取組みを広げてほしいです。仙台市は先進的な取組みを行っているというアピールにもなります。

次に質問ですが、都心循環線の利用者数の資料がありますが、他の路線の利用者数の変化が気になります。仙台駅までの利用者が、そこから都心循環線に乗り換えているだけで、トータルで都心内の利用者数が変わっていないというなら思った以上の効果ではないことも考えられます。その点は確認できますか。

**○日下貴史 交通政策課計画係主任**

青葉山の取組みについては、今後、バス運転手の不足、高齢者の足の確保に向けて期

待されるものです。来年度も、プロジェクト推進課にて実証実験を行うため、その結果や関係部局の意見も踏まえながら、実用化に向けて検討を進めてまいります。

○早坂佳高 交通推進課利用促進係主査

都心循環線について、120円パックの利用者は増えていることが分かっています。都心内の利用者が都心循環線に転移しているだけではないかについても、今後確認していきます。

○五十嵐大 公共交通推進課課長

補足します。120円パックの利用者は増えていますが、120円パックの区間内に都心循環線も含まれているので、利用者を取り合っているかは、数字上は何とも言えない状況です。ただ、まちのりチョコットに実際に乗ってみると、利用している層は親子連れや観光客で明らかに路線バスの利用者層と違うと感じています。PRも小学校、商工会議所、観光協会に協力いただき、通常の路線バス利用者以外の層に行っています。データについて、どのような形で分析できるかも含め、今後検討していきたいと考えています。

○吉田樹 会長

その他、質問やご意見はありますか。

○鈴木俊介 宮城交通株式会社営業部次長（脇田淳委員代理）

ドライバー不足・2024年問題についてコメントさせていただきます。宮城交通では仙台市内の路線バスについて全体の3%台の減便を発表しました。運転手の採用活動には力を入れているが、毎月の採用者の平均年齢は50歳を超えており、結果的に毎年まとまった数の定年退職者がいる状況です。仕事量の調整のため貸し切りバスの依頼を断ることや、高速バスも一部路線で毎日運行のところを休日のみ運行にするといった対応をしている状態です。そのような取組みの一方で、市内の赤字路線を運行するという悪循環に陥っています。今後もドライバー不足について念頭に置いていただきながら、施策の優先度や内容について、意見交換をさせていただきたいと考えています。

○吉田樹 会長

全体を通して、コメントやご意見はありますか。

（特に意見等なし）

ドライバー不足は全国共通の問題であり、引き続きどのような取組みが可能か検討したいと思います。

本日の議題は以上となりますので、ここで進行を事務局へお返しします。今年度もありがとうございました。

## 6 閉会

### ○石澤由 交通政策課計画係長

次回は令和 6 年 5 月下旬ごろを予定しています。詳細な日時・場所については改めて連絡します。

### ○菊池輝 東北工業大学工学部都市マネジメント学科教授

一点要望で、協議会の開催について Web の併用を積極的に検討してほしいと思います。

### ○石澤由 交通政策課計画係長

今後、検討させていただきます。

以上をもって、令和 5 年度第 4 回仙台市交通政策推進協議会を閉会します。

以 上